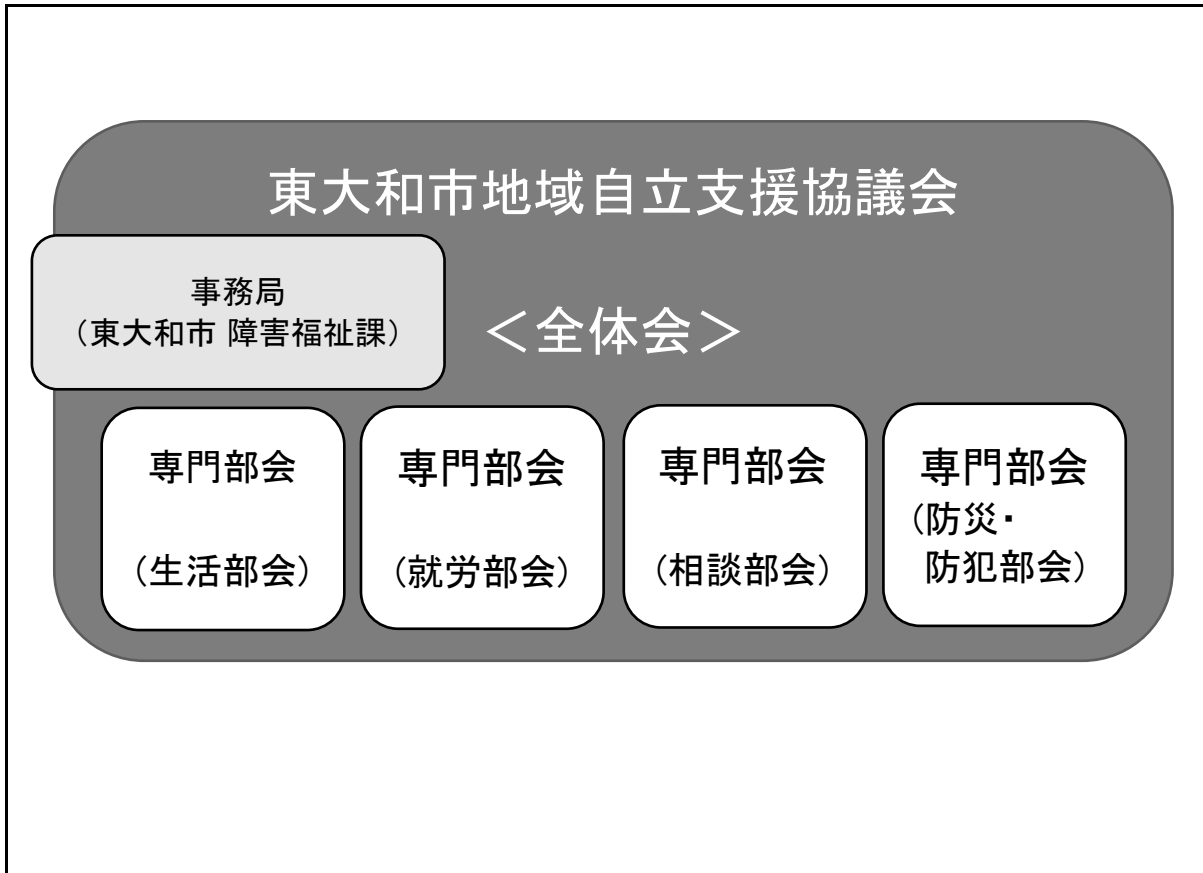


# 東大和市

## 1 地域自立支援協議会の基本事項

- (1) 名称 東大和市地域自立支援協議会
- (2) ホームページURL <https://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/32.23987.343.589.html>
- (3) 組織図



## 2 地域自立支援協議会の委員

### (1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1		水谷 雅弘	東大和障害福祉ネットワーク	障害当事者・家族・関係団体	
2		上手 恵美子	は〜とふる生活介護保護者会「柿の木会」	障害当事者・家族・関係団体	
3		鈴木 一広	東大和精神保健福祉関係者連絡会	障害当事者・家族・関係団体	
4	会長	田中 海之	東大和市相談支援事業者連絡会	相談支援事業者	
5		尾崎 美佐子	東大和市グループホーム事業所連絡会	障害福祉サービス等事業者	
6	副会長	橋本 智保子	就労支援事業所NOAH	障害福祉サービス等事業者	
7		粕谷 久美子	つつじネットワーク	障害福祉サービス等事業者	
8		若林 和男	東大和市商工会	企業	
9		成島 公美子	立川公共職業安定所	雇用関係機関	
10		橋本 雅美	多摩立川保健所	保健所	
11		三村 さやか	東大和療育センター	医療関係者	
12		高山 仲司	村山特別支援学校	教育関係機関	
13		尾崎 智	羽村特別支援学校	教育関係機関	
14		尾又 斉夫	東大和市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
15		井上 千秋	東大和市総合福祉センター	障害福祉サービス等事業者	
16		齋藤 知穂	東大和市精神障害者地域生活支援センター	障害福祉サービス等事業者	
17		飯島 裕子	民生委員・児童委員協議会	民生委員・児童委員	

## (2) 委員構成

種 別	全体会・部会名				
	全体会	生活部会	就労部会	相談部会	防災・防犯部会
学識経験者	0	0	0	0	0
医療関係者	1	2	0	0	1
保健所	1	0	0	0	1
教育関係機関	2	1	1	0	0
雇用関係機関	1	0	4	0	0
企業	1	0	1	0	0
障害当事者・家族・関係団体	3	3	0	0	1
身体・知的障害者相談員	0	1	0	0	1
相談支援事業者	1	1	0	9	0
障害福祉サービス等事業者	5	5	6	0	2
社会福祉協議会	1	0	0	0	1
法曹関係者	0	0	0	0	0
民生委員・児童委員	1	0	0	0	1
地域住民	0	0	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	0	0	3
行政職員(都)	0	0	0	0	2
その他	0	1	1	0	0
計	17	14	13	9	13

## 3 地域自立支援協議会の活動状況

### (1) 地域自立支援協議会での協議事項(複数回答)

#### ② 就労支援に関すること。

「就労へのガイドブック」を完成させ、イベントでの配布や今後の活用方法について検討した。部会での地域課題について話し合いを行い、市内での求人不足・定着支援体制づくり・商工会との連携について課題提案を行った。

#### ⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

前年度に引き続き、住宅入居支援、ゴミ出し支援、金銭管理支援等、制度の狭間で困難性の高い課題について、グループ毎に話し合いを行い、講師を招いた勉強会なども開催した。

#### ⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

地域生活支援拠点は令和2年度に設置し、令和3年度をもってプロジェクトチームは終了している。その後は拠点コーディネーター会議を毎月開催し、5つの機能について進行管理を行った。

#### ⑭ その他(防災・防犯に関すること)

「東大和市浸水・土砂災害ハザードマップ」に基づき市内事業所の協力のもと、当事者も参加して現地視察・マイタイムラインの作成を行いイベントにて展示発表を行った。その他防犯腕章の事業所配布や市オリジナルの災害カルタの展示・実演、警察との懇談会を開催した。

#### ⑭ その他(コロナ禍での障害者理解促進に関すること)

「いんくるウイズ コロナ～障害のある方が街に出たいと思える新しい生活様式～」をテーマに障害者理解促進のために作成した動画3本を完成させ、イベントや市HPで紹介した。またいんくる協力事業者への訪問調査を行った。

#### ① 相談支援事業の運営体制に関すること。

東大和市計画相談支援マニュアルの策定に向けて、相談部会からも意見を聴取するとともに内容の検証を行った。また、持ち回りにて相談支援事業所から事例を提出し、事例学習による相談支援の質の向上を図った。

**(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）****② 情報共有・情報発信**

各部会や全体会、公開イベント（スタンプラリー）による障害者理解促進に係る情報発信を行った。

**⑤ 地域課題の整理**

各部会で地域課題をあげてもらい、全体会で確認・検討した。

**⑥ 課題解決に向けての検討**

各部会で地域課題をあげてもらい、全体会で確認・検討した。

**⑨ 構成員の資質向上・研修の場**

相談部会において、事例学習を通してモニタリングの検証を行い相談支援の質の向上に努めた。また、課題について理解を深めるため講師を招いて勉強会を実施した。

**(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題****ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）****② 社会資源の開発及び改善**

住宅入居支援、ゴミ出し支援、金銭管理支援等、制度の狭間で困難性の高い課題について、グループワークを行い、検討を行った。

**⑥ 緊急・災害等対応**

「東大和市浸水・土砂災害ハザードマップ」に基づく現地視察とマイタイムラインの作成を実施。障害のある方でも個々への避難に要する時間が異なることや現地視察をしたことにより、実際の危険区域が分かった。

**⑩ 就労支援**

冊子「就労へのガイドブック」作成・プレ配布。今後の活用方法についても検討を継続する。

**⑬ その他（コロナ禍での障害者理解促進に関すること）**

コロナ禍での合理的配慮に関する動画を完成・公開した。インクルーシブ推進事業についても協力事業所への訪問調査を行い今後の展開等について検討した。次年度も引き続き取り組み予定。

**① 相談支援の質及び量**

相談部会において、事例学習を行い、モニタリングの検証や振り返りにより市内事業所全体の質の向上に努めた。

**イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題**

特になし。

#### 4 地域移行・地域生活支援を進めるための社会資源

##### (1) 当事者の声や願いと有効な社会資源

地域移行・地域生活支援を進める際の当事者の声や願い（複数回答）	願いをかなえるために有効な社会資源（複数回答）																	
	地域生活支援拠点等	基幹相談支援センター	相談支援事業所	自立生活援助事業所	就労移行支援事業所	就労定着支援事業所	グループホーム	地域活動支援センター	地域移行支援事業所	地域定着支援事業所	日中活動の場	訪問系サービス	短期入所事業	医療機関	ピアサポート	不動産事業者（※）	有効な社会資源はない。	その他
①入所施設から退所して、地域で暮らしたい。	○								○									
②精神科病院から退院したい。									○				○		○			
③困ったときに気軽に相談できるところがほしい。		○	○												○			
④情報不足やわかりにくいときに、手助けしてくれるところがほしい。	○	○																
⑤地域で生活することに関して、いろいろな選択肢を知りたい。			○															
⑥地域生活を始めるにあたっての不安を解消してくれたり、自信を取り戻すことに力になってくれたりする人がいてほしい。			○															
⑦地域移行に向けて「体験の場」がほしい。																		○
⑧一人暮らしをするための物件探しが難しいので、相談にのってほしい。																○		
⑨地域移行から定着までを通して支援する仕組みがほしい。																		
⑩親亡き後の生活が心配なので、相談にのってもらえるところがほしい。																		○
⑪訪問診療や介護を利用したい。																		
⑫災害が起こったらどうすればよいか不安なので、相談にのってほしい。																		○
⑬余暇やスポーツ活動を楽しみたい。																		
⑭その他																		
合計	2	2	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	2	0	3

※障害者が一人暮らしできる住居を探してくれる不動産事業者

その他の具体的な内容（有効な社会資源）

⑦体験の場として、地域生活支援拠点事業「とびたち支援事業」や「緊急時よりそい支援事業」を実施している。